



一般社団法人
富山県作業療法士会
ニュース

平成27年度 No.3 第118号 平成27年11月17日

発行 富山県作業療法士会

会長 田村 良子

印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：550人

第56回作業療法全国研修会を終えて

実行委員長 田村 良子

9月26、27日に富山国際会議場で開催された作業療法全国研修会は、受講者数321名（県外198名、県内123名）で充実した研修が行われました。当初の予算段階では350名（県外245名、県内105名）としていましたので、県外からの受講者が若干少なかったようです。新幹線開通の27年度に開催を引き受けることにしていましたので、講師、協会運営役員の24名を含めると222名の県外の方が富山に来て下さり、研修だけでなく富山の風景や食、土地柄、人柄なども感じ、味わっていただいたのではないかと思います。開催期間は晴天に恵まれ、3階ホワイエからは富山城が目の前にきれいに見え、会場も広くきれいで、落ち着いた環境で研修していただけたと思います。

一方、富山県の受講者が123名、実行・運営委員が53名ですから県士会員の約三分之一が集結したことになります。今実践するべき、そしてこの先目指していかねばならない作業療法の姿を脳裏に焼き付けることができ、県士

会活動も一層パワーアップすることと期待しています。また、これが全国各地で開催する意味なのかと改めて納得もしました。

全国研修会は、研修内容、講師、プログラムは協会で決め、ポスター・チラシ作成、協会誌、協会ホームページの掲載、申込み受付、会計は協会が行い、県士会は運営を担当します。会場を決め、使用機器・備品等を決め、抄録集の編集、前日の会場設営、当日の講師接待、会場進行、受付、クローク、そして懇親会が仕事です。当日の運営については協会の方からは「整然と対応している」と褒めていただきましたので、皆さんに報告しておきます。また、充実した研修会となったのも富山県、富山市を始め関連職種団体からの後援やコ



ンベンションビューロ、書籍販売、機器展示の協力、そして国際会議場からも多くのサポートをいただいた賜物だと思います。

前回の士会ニュースで必見・必聴と案内しました公開講座では、野村さんの義手で様々なことに挑戦していく諦めない姿勢とそれを支え可能にしていく作業療法士の柴田さん、そして義肢装具士や医師とのチームワークに、やっぱり作業療法士という仕事はいいなあ思い、しっかりその人の生活を支援していけるようにならないと…と自分の



仕事を見直す機会ともなりました。野村さんはこのような形で全国を回って作業療法を宣伝しますと言っておられます。公開講座については野村さんへの取材があり、北日本新聞、富山新聞に掲載され、多くの県民に野村さんの義手でのバイオリン演奏の姿と共に作業療法を知らせることができました。

全国研修会を終え、今回の研修会のテーマである「作業は人を健康にする ～地域へとつむぐ役割～」を肝に命じて日々活動していきましょう！



全国研修会に参加して

市立砺波総合病院 野原 奈於

平成27年9月26日27日に第56回作業療法全国研修会が開催されました。作業は人を健康にする～地域へとつむぐ役割～をテーマに掲げられており、講義内容としても、活動と参加に焦点を当てた介入が重要であることや、生活行為向上マネジメントに関する内容が多く聞かれました。また、公開講座として講師に野村真波さんを招き、あきらめない心と作業療法～義手（失った片腕）が与えてくれたもの看護の仕事とバイオリン～と題し、講演を聞くことができました。実際にバイオリン演奏を聴くことができ、障害を負ったときの心境や、乗り越えていくことができた過程など、患者としての立場から、心境の変化などの貴重な話を聞くことができました。また、そこにどのように作業療法士が関わっていったのかという話を聞くことができ、とても心に残りました。最初のころはうつむき、泣いてばかりいたという野村さんですが、

装飾義手と出会い、それが外出のきっかけとなり、プールに行くことにつながったと話しておられました。今ではパラリンピックでも活躍されていますが、そのきっかけ作りに作業療法士が関わられたという話を聞くことができ、作業療法士の仕事の幅の広さと、素晴らしさを改めて感じました。

全国研修会に参加して、私は、4月から働き始めたばかりですが、本当に患者さん、その人のことを考えることができるか改めて振り返る機会になりました。疾患や身体機能ばかりに目が向いていて、患者さんの思いや、大切にしている作業を見落としているのではないかと思いました。今回の研修をきっかけとして、もっと目の前の患者さんとしっかりと向き合い、寄り添い、活動と参加に重点をおいてアプローチしていける作業療法士になりたいと思いました。

作業療法体験会に参加して

黒部市民病院 山田 美樹

今年度も作業療法体験会が高岡会場の厚生連高岡病院、富山会場の富山県立中央病院で開催されました。今年も多くの方々が体験会に参加され、作業療法とは？を体験していかれました。

私は、普及指導事業部のスタッフとして初めて



この体験会に参加させていただきましたが、参加された方々が作業療法をどのように捉えているのかを知る良いきっかけになりました。体験会の内容としては、OTの説明をしたり右片麻痺を想定した治療体験を行ってもらったりしました。私たちがいつも臨床で行っている身体機能評価やADL指導は当たり前のことですが、作業療法を知らな



い方には、何の目的で行うのか、対象はどんな人かなどを知る良い体験になったのではないかと思います。また、自分が体験会に参加するまでは、参加者の方が作業療法のどの分野に興味を持っているのか把握できていませんでしたが、発達分野に興味を持っている方が多くおられることを知り、対象者にどのような作業療法を提供しているのかを普及させるいい機会になったのではないかと思います。

参加した方々とOTRが意見交換する座談会では、進学のために知りたいことや作業療法の具体的な内容、作業をどのように捉えて対象者に提供しているのか等について話し合いました。私たちのグループでは、具体的な質問が多く、理学療法と迷っている子が何人かいましたが、作業療法の良さを知り、進学する道を作業療法に決めたとする子もいました。そんな子たちを見て、「やっぱり作業療法って素敵な仕事で、作業療法士を目指します」と言われると、凄く嬉しい気持ちでいっぱいになりました。また、自分が作業療法士になろうと決め、目指していたあの頃を思い出し、また初心に戻って頑張ろうと改めて思いました。



今回の作業療法体験会の反省点を生かし、来年度も自助具を用いた実技を行うとともに、マクラメなどの“作業”を提示し、どのように作業を用いて治療を行っているのかを体験できるようにするとより作業療法の魅力を知ってもらえるのではないかと感じました。年1回の作業療法体験会がレベルアップしていくように関わってまいります。



生活行為向上マネジメント研修会に参加して

南砺市民病院 野田 理央

平成27年8月9日に厚生連高岡病院で開催された生活行為向上マネジメント（演習1）の研修会に参加させて頂きました。研修会では生活行為向上マネジメントの流れと活用するシートの記入方法についての説明、事例に対してのグループワークを行いました。

講義では生活行為向上マネジメントを遂行するにあたり、対象者の生活行為の目標を聞き取る必要があります、歩きたいや手が動けるようになりたいなどの機能的な目標ではなく、その先にあるどんな生活行為がしたいのか、生活に近い本音を聞き出すことが重要であると話されていました。対象者は病気や障害により生活行為の目標に気持ちが向きにくい事や目標を見出せない方も想定され、対象者との関係性の築き方や聞き取り方の配慮、対象者の生活全体を捉える視点が求められること

を感じました。

グループワークでは事例を通じてアセスメント演習シートを作成し、グループで考えをまとめ目標の設定を行いました。演習シートのアセスメント項目にそって、本人の目標に対する阻害因子や、強み、予後予測をアセスメントすることで生活行為を取り巻く現状と課題が明確になり、対象者にとってより具体的な目標設定を図ることが出来ました。臨床ではつい身体機能に評価が向きやすく、その先にある対象者の生活行為や生活への満足感といった視点が乏しくなっていた事を反省させられました。

生活行為向上マネジメントを活用して作業療法を実践し対象者の生活行為が良いものとなる事で、作業療法の必要性を周囲に理解して頂けるため、この機会を大切にしていきたいと思いました。

生活行為向上マネジメント（MTDLP）

ケアポート庄川 松岡 暢

先日富山で行われた全国研修会では、生活行為向上マネジメント推進プロジェクト委員長の谷川真澄先生の講座MTDLPに託す～感じて、つないで、見せよう、作業療法～において熱いメッセージをいただきました。

会員の皆さんにはMTDLP研修に参加いただいているところですがMTDLPを実践するにあたり、日本作業療法士協会「事例報告書作成の手引き」

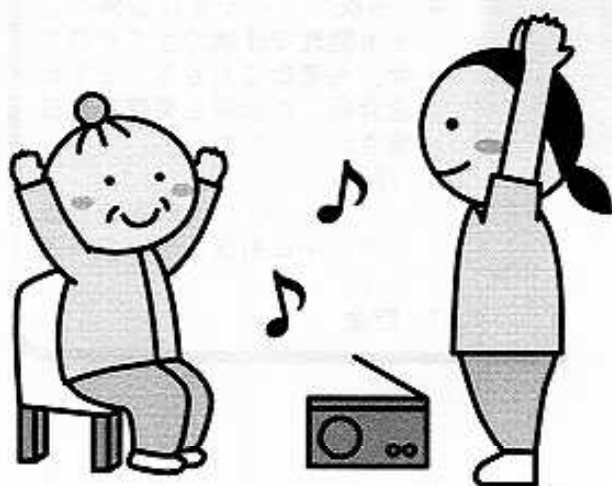
も参考して下さい。手引きにはMTDLPを実践する上でのキーポイントや各シート（1）基本情報収集（2）インタビュー（3）生活行為のアセスメント（4）解決すべき課題の設定と（目標）合意形成（5）プランニングと実行：生活行為向上プラン（6）モニタリングと計画の修正についてわかりやすく示されています。「事例報告書作成の手引き」は、日本作業療法士協会HPにあります。

みわ苑は41号線の富山インター近辺に位置しており、平成3年3月25日に開設され今年で24年目を迎える施設です。施設定員は入所96床（内、ショートステイ4床程）と通所40名であり、スタッフは入所がPT1名、OT2名、助手1名、通所がPT1名、OT1名の計6名です。また併設の三輪病院には、医療・介護病棟、認知症治療病棟があり医療面も充実しております。

当苑では、在宅復帰に向けて基本動作訓練や応用動作訓練、さらに個々の興味・関心のある作業に取り組み、より充実した入所、通所生活を送っていただけるよう取り組んでおります。現在はまだ手探りですが、医師と他職種との連携を深め、利用者様の「興味・関心」、そして「楽しめる事」を中心に作業を提案・提供しております。特に最近では花壇・畑作りに取り掛かっており、利用者様においては、いつもは物静かな方でも職員のおぼつかない手元をみて助言をされたり、職員から教えを請われることで生き活きとされたり、さらにそれを見ていた他の利用者様が会話に参加されるなど少しずつ変化が感じられます。さらに当苑では、一年を通して季節感を味わっていただ

けるような行事を行っており、特に夏季には「みわ苑祭」を開催し、利用者様と家族、地域の方との結びつきを大切にしております。

最後に、当苑のスタッフは保育園児や小学生の子育てに大奮闘している方が多く、仕事と家庭を両立する上でお互いに協力し合い、またリハビリ室は雑談も含め笑いが飛び交いチームワークが抜群です。これからも本施設の理念である「ほほえみ」と「おもいやり」、「いたわり」を大切に、看護・介護との連携をさらに深めて、利用者様の在宅復帰や充実した施設生活に努め、また楽しく元気になる施設を目指して努力していきたいと思っております。



新入会員の横顔

1. 名前
2. 施設名
3. 出身校or旧所属施設
4. OTとして働いてみての感想
5. 私の好きな言葉
6. 自分を動物に例えると？その理由は？
7. 今年チャレンジしたいと思っていること



1. 大澤 知歩
2. 富山県高志リハビリテーション病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 患者様の変化を間近で感じることができて楽しいです。
5. 為せば成る
6. カメ／理由：マイペースだから
7. ダイビング



1. 永井 綾恵
2. 富山県恵光学園
3. 富山医療福祉専門学校
4. 日々勉強の毎日ですが、子供達に癒されながら頑張っています！
5. 笑顔
6. 犬／理由：褒められるとより一層頑張れるから
7. 熱中できる趣味を見つける事



1. 杉江 恒星
2. 藤聖会 八尾総合病院
3. 布谷整形外科医院
4. 特に生活期は考えなければいけない範囲が広いと感じた。まだまだ奥が深い仕事。今後もどんどん掘り下げて学んでいきたい。
5. Sincerity
6. イルカ／理由：助け合いを大事にしているから
7. アウトドア料理



1. 武内 寧花
2. 池田リハビリテーション病院
3. 長野医療技術専門学校
4. チーム間の連携の大切さを感じながら楽しく働いています
5. 人生の目的は、目的のある人生を送ることだ
6. ねこ／理由：マイペースで冬はコタツから離れないから
7. 運動を習慣にし、体力をつけたい



1. 松田 美香
2. 藤の木病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 学校で学んできた以外にも間近で体験できて新鮮です。大変なこともあります。患者様との会話と笑顔に毎日癒されています。
5. 棚からぼたもち
6. もぐら／理由：休みの日は布団の中に引きこもっているから
7. 貯金

小笹真珠子	アルペンリハビリテーション病院
島津 一輝	アルペンリハビリテーション病院
山本 将也	アルペンリハビリテーション病院
岡本 順子	自宅
山本 江莉	

平成27年度 第4回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成27年8月10日(月) 19:00～

参加者：田村、松岡、作田、広野、田邊、丸本、
吉波、島津、高林、松本、森、橋爪、
小倉、谷口、浅生

以下の事について検討した。

〈検討事項〉

1. 生活行為向上マネジメント研修会の今後の企画
今年度の基礎研修の補完として11月6日、12月5日に概論と演習プラン編を新川文化ホールで行う予定。事例検討会に向けてファシリテーターの研修会も計画中。来年度以降は一日コースで実施予定。
2. 介護予防事業等への参入の体制－地域別の体制づくり
地域包括ケア会議や介護予防事業に参画していくために、県内のネットワークを構築していく必要がある。高齢福祉課包括支援センター等機能強化事業アドバイザー20名の集まりを近日中に開催し検討していく。
3. 自民党県連「平成28年度 国・県予算に対する予算要望書について（9月25日締切り）」
意見・要望なし。
4. 全国研修会の講師名簿を理事に配布。当日の運営打ち合わせを9月9日19時から行う予定。
5. 来年度の代議員を今後検討していく。

〈報告事項〉

1. 東海北陸リーダー養成研修会－11月7日14:00～8日12:30 参加者：市森氏(基礎医学部会)渡邊氏(発達障害部会)他部会と理事から参加者を募る。
2. 作業療法体験会 7月25日厚生連高岡病院で開催。40名弱の生徒と親が参加。
3. 生活行為向上マネジメント研修会
8月9日開催。参加者80名
今年度中に算定要件を満たしたいと考えている施設が8あり対応を確認検討していく。
4. 北信越ブロック家族会 精神保健福祉研修会
ボランティアに田村、小澤、衣笠、岡本、桑原、開氏参加。
5. 富山県リハビリテーション専門職協議会
7月31日 田村、田邊、作田、橋爪氏参加。
 - ・専門職協議会設立の報告と地域リハビリテーション活動の推進についての要望や協力依頼を県の各関係者と医師会にお願いした。
 - ・県高齢福祉課から理学療法士会にリハ専門職による介護予防機能強化事業の依頼があり、今年度はガイドブックを作成する事になった。問い合わせ先を載せるため、地域の窓口を作っていく。
 - ・県の委託事業「リハ職種の資質向上事業」について。OT士会から田邊氏が選出され、研修内容について検討していく。

6. 発達障害部会研修会－7月26日 参加者127名
(教員・福祉関係者・県内外のOT)
7. 福利厚生部 ホタルイカマラソンボランティア
募集は県士会ニュース発送時に同封する。懇親会は日時の調整中。
8. 全国研修会準備進捗状況の報告
7月31日時点で申し込み48名。後半に増える事が予測されるが、各県士会事務局への案内を出し広報した。富山県士会員の参加も呼び掛ける。
9. 訪問リハ研修－8月9日 参加者53名
「リスク管理について」
10. 教育部より
現職者研修は16名参加。今後、地区ごとに事例報告会を開催予定。
現職者選択研修は精神障害。11月22日滑川交流センターで開催予定。10月3日4日に行われる生涯教育委員会会議に谷口氏参加予定。
11. 渉外部より派遣依頼のアンケート結果の報告あり。地域包括ケア会議に関わるOTのネットワーク化について。運用案として、動きだしまでは渉外部が関わることになるが、管理者(要はリーダー・代表者)を選出して、組織・情報の管理は代表者が中心となってすすめたほうが良い。
12. 47都道府県委員会
平成27年7月25日(土)、26日(日)丸本、島津氏より報告があった。協会からは行政との連携を強めてほしい。2年後より、地域ケア会議が開催となるので積極的に参画してほしい。そのためには人材育成と職場の理解が必要である。またOTは何ができるのかをPRしていくことも重要な課題である
13. 都道府県連絡協議会 丸本氏より報告あり。
今後この会議は近隣の連絡として活用していく。
11月28、29日東海北陸学会を岐阜開催。来年は石川県で11月4週目に開催予定。来年度リーダー研修は富山で開催予定(11月頃)。
14. 財務より
パソコン処理システムの年間維持費3万+加えたシステム代15万を要した。今後、功労表彰システムには10万円の経費必要であり次回検討予定。
15. OTの宣伝を24時間テレビで実施。(費用5万円 テレビ4本、ラジオ4本)

平成27年度 第5回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成27年9月14日(月) 19:00～

参加者：田村、松岡、作田、広野、田邊、丸本、
吉波、島津、高林、松本、橋爪、小倉、
谷口、浅生

〈報告事項〉

1. 東海北陸リーダー養成研修会－11月7、8日
参加者－森氏(理事)、市森氏(基礎医学部会)、

藤井氏(財務部)、渡邊氏(発達障害部会)氏+他1名予定

2. 作業療法体験会-8月23日

県立中央院で開催:体験会という名前は勘違いする方がおられるので名称を変えた方が良いのではとの意見あり

3. リハビリテーション専門職協議会

ガイドブック作成委員-小澤、松本氏(富山医療福祉専門学校)、辰己氏(富山老人保健施設):今年度中に作成予定(予算3土会で50万円)

4. 8月25日OT地域アドバイザー会議:17名(20人中)参加今年度中に各医療圏で連絡網作成。協力できる人を増やし、依頼があったときに動けるように体制を整える。

5. 「地域ケア個別会議(模擬研修会)」に関するモデル研修-11月29日 東京 橋爪氏(理事)、赤尾氏(富山赤十字病院)参加予定

6. OT協会より組織率向上に向けたアンケート

9月30日締切-会長回答

7. 地域包括ケアシンボルマークの募集

県厚生部高齢福祉課よりホームページに案内掲載

8. 福利厚生部-ほたるいかマラソン、懇親会:ボランティア10名参加予定。来年度からは新入会員に参加してもらうようにする。

9. 全国研修会-250名の事前参加登録、例年当日参加100名程

10. 東海北陸作業療法学会座長依頼

身体障害領域2名-広野氏(労災病院)、高岡氏(県立中央病院)

〈検討事項〉

1. 平成27年度 富山県福祉カレッジ特別講座「専門多職種連携とソーシャルワーク実践研修」

11月13日(金)13:30~14日(土)12:30 高志会館

昨年度出席者よりOTをピアールするためにも誰かを派遣したほうが良いとの意見あり

2. OT協会「女性会員の協会活動参画を促すための方策検討会」

10月4日(日)10:00~12:00 協会事務所:丸本氏(谷野呉山病院)参加予定参加

3. 富山県在宅医療研修会講師

1月16・17日あるいは1月23・24日に開催予定の研修会で認知症対応と生活行為向上マネジメントについて作業療法士担当がする。講師の選定が必要。認知症は高松病院に生活行為向上マネジメントは谷川氏(協会理事)に問い合わせをして推薦してもらう。

4. 士会会員管理システム

・県士会功勞表彰のシステムを作成に20万円の経費必要であり、理事の了承を得る。

・会員を地区別(富山・新川・高岡・砺波・自

宅)に分けるシステム作成に5万円の経費必要であるが、業者にシステム作成状況聞き、次回理事会で再度検討予定

・会員移動・改姓が拾い出せない-士会ニュースに掲載する必要があるのか?他県士会を調査する

5. 全体会-12月18日(水)19:00~谷野呉山病院で開催予定

6. その他

- ・各部会には11月中に事業計画を提出してもらう。
- ・富山・新川・高岡・砺波4地区で、会員に対して①地域アドバイザー会議出席への理解、②災害リハの連絡網の作成、③生活行為向上マネジメント研修受講の必要性、④認知症初期集中支援チームに関する理解、⑤県士会会費運用報告と値上げの検討について、会長と各責任者が報告予定。開催時期は1月~3月の期間で、各地区の理事が開催日程・場所の連絡を行い、取りまとめる。

平成27年度 第6回理事会

場 所: 谷野呉山病院

日 時: 平成27年10月5日(月) 19:00~

参加者: 田村、作田、広野、高岡、田邊、橋爪、高林、谷口、島津、浅生、吉波、松本、小倉、丸本、斎藤、森

〈報告事項〉

1. 東海北陸リーダー研修会-11月7、8日

静岡県にて開催

参加者: 森(理事)、市森(基礎医学会)、藤井(財務部)、渡邊(発達障害部会)、宮本(普及指導部)

2. 全国研修会-9月26、27日

富山国際会議場にて開催。参加者330名。

・公開講座は北日本新聞、富山新聞に記事掲載。懇親会参加者76名。

・県内外参加者数、収支決算報告を以て富山県富山市に補助金請求を行なう。

3. OT協会教育部会議-10月4日

東京-生涯教育推進委員 谷口氏

・生活行為向上マネジメント(MTDLP)研修と生涯教育制度の関連する以下の①~③について協会理事会で承認後、2016年度より実施される予定。

① 現職者選択研修の中にMTDLP研修(基礎研修)を必修項目として組み入れる。

② MTDLP実務者研修の事例報告は現職者共通研修の「10.事例報告」及び、認定作業療法士の「事例報告登録」に読み替えが可能。

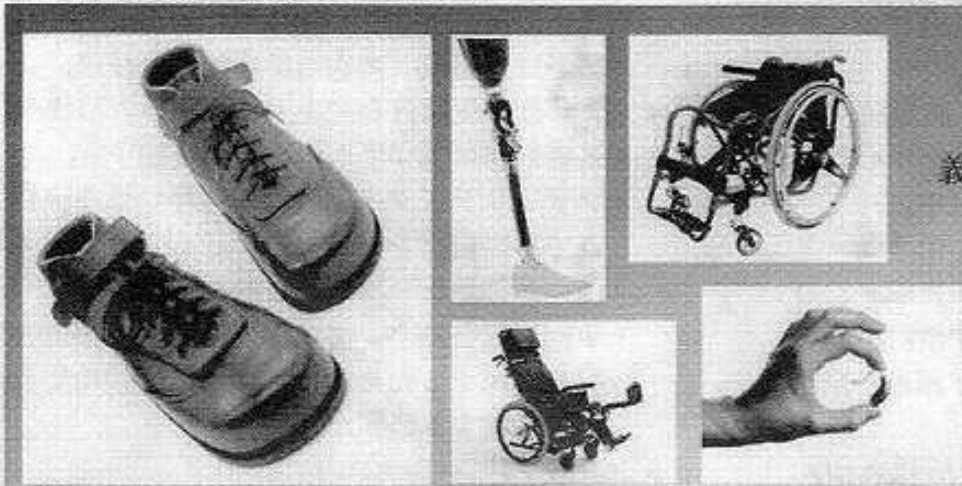
③ 認定作業療法士取得研修「認定作業療法士の選択研修」にMTDLPの研修を追加する。

※研修・事例検討の運営や生涯教育ポイントについての取り決めは各県士会で検討する。

Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



【営業品目】

義手・義足・補装具等 製作修理

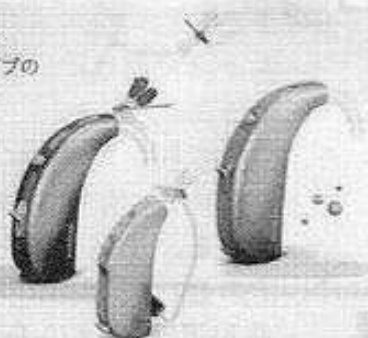
オーダーメイド靴 製作

車椅子・スローマ・補聴器

福祉用具貸与販売

高度・重度難聴の方をサポートする、クレストシリーズのパワー&防水タイプの補聴器です。

PhotoQuest #531



(株)富山県義肢製作所 富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425-4279

FAX (076) 425-4587

E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

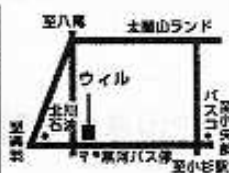
車椅子
→ 480円より
ベッド
→ 700円より



株式会社 **ウィル**

TEL (0766) 56-7099

FAX 56-3395



手芸・毛糸の店

- 手芸糸
- 刺し子
- ビーズ手芸
- マクラメ糸
- ちりめん手芸
- その他

ハマナカ
オリムパス、ナスカ
トーホー、ミユキ
ダルマ、川端
東芸
S.M、M.B他
各手芸材料取り扱っています。



ボタン・手芸・毛糸



スギマサ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9

TEL (076) 421-3444

FAX (076) 421-4334

1. OT協会「女性会員の協会活動参画を促すための方策検討会」10日4日 東京-丸本氏
 - ・女性理事の割合が半数を超える県士会から、その理由や対策を報告。今後の協会活動の参考とし、設定した行動目標に沿って協会役員に女性の参画を促したい。
 2. H27年 富山県在宅医療研修会 田邊氏
 - ・富山県作業療法士会ではMTDLPを中心に研修を実施する。講師については検討中。
 3. 訪問リハビリテーション研修会 田邊氏
 - ・「リスクマネジメント」「活動・参加」について、2月に実施予定。講師は現在検討中。
 7. ホタルイカマラソンボランティア派遣、県士会懇親会について 福利厚生部
 - ・ボランティアは11名参加予定。懇親会は10月31日19:00～富山駅前にて開催予定。参加者には県士会より1名につき2,000円を補助する。
- 〈検討事項〉**
1. OT協会 代議員3名の推薦
 - ・富山県士会から、高岡氏、丸本氏、島津氏を推薦。
 2. 富山県福祉カレッジ「専門多職種連携とソーシャルワーク実践研修」-11月13日(金)13:30～11月14日(土)12:30 高志会館
 - ・参加者は現在検討中。
 3. 平成27年度 地域リハビリテーション従事者専

- 門研修会-11月27日(金)、28日(土)
 テーマ「在宅におけるリハビリテーション～自立支援に向けた取り組み～」
 講演2「訪問リハビリテーション～作業療法士の立場から～」の講師派遣依頼
 ・講師は鷲尾氏(南砺市民病院)に依頼。
4. 来年度の生活行為向上マネジメント研修会
 - ・基礎研修は来年度も1～2回実施予定。
 - ・ファシリテーターの養成が急務であり、11月時点で基礎研修を終了している会員には、今年度内の事例登録を積極的に勧めてゆく。
 - ・事例検討会については、より多くの事例検討件数を確保するために、各部会に事例検討会の開催を依頼する必要がある。
 5. 介護予防研修会について
 - ・今年度は作業療法士会で担当する。(11月開催予定)
 - ・県士会員向けに、県士会ホームページに開催要項を掲載する。
 6. 会員管理システムについて(現状報告)
 - ・システムの整理・強化に向け、今後も調整を継続する。
 7. その他
 - ・岐阜県士会より東海北陸作業療法学会に、MTDLPに関する演題登録の依頼あり。富山県士会から鹿熊氏(富山協立病院)を派遣。

賛助会員名簿

(順不同)

会員名(代表者)	住所
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL 076-425-1166
働ウイ (代表取締役 黒田 勉)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL 0766-56-7099
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL 076-476-0001
南スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL 076-421-3444
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (理事長 加藤 真一)	924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400(代)

会員異動等

種類	氏名	旧所属	新(現)所属
退会	三輪 晃子	さくら苑	
異動	前田佐矢香	富山協立病院	自宅

編集後記

9月の初めごろから徐々に秋らしい天候となり、今ではすっかり秋の雰囲気が漂っている頃かと思えます。秋といえば実りの秋。米をはじめ、さまざまな作物が収穫される時期でもあります。私の実家では米と里芋を育てており、私の中では「秋=米・里芋の収穫」というようなイメージがあります。他にもいろいろなイメージや印象があるかと思えますが、それは人それぞれ違うものではないでしょうか。皆さんにとっての秋とはどのようなものですか?もし時間があるならばそのような秋を探しに、少し外をフラフラしてみるのもいいかもしれません。

(K.M.)